



神指城址 清掃ボランティア



9月20日(金)、会津若松市神指町の観光スポットとなっている、「神指城本丸跡」の清掃・草刈りのボランティアを1・3学年の全生徒で行いました。

まず初めに、会津歴史研究会・神指城を守る会 会長の井上昌威先生より、神指城についての説明がありました。

神指城は1600年に上杉景勝の命によって築城されましたが、その後の徳川家康による上杉家の転封で放棄されてしまいました。もし神指城が完成していたら、大川と城下町が直結し、日本海側との貿易が盛んになり、会津は日本有数の商業都市になっていたであろうと言われています。また、鶴ヶ城の2倍の大きさを誇り、平地にあるがゆえに大砲の攻撃にも強い神指城があったとしたら、幕末の会津戦争も結果が変わっていたかもしれません。

上が神指城跡の地図です。本丸の右下の角のあたりが、現在、グラウンドや観光客用の駐車場となっており、その場所で清掃・草刈りを行いました。



炎天下の中、大変な作業となりましたが、一生懸命作業をして、非常にきれいになりました。

10月1日にこの場所で『越後と会津を語る会』というイベントも行われるということで、「イベント参加者や観光客の方によるこんでもらえます」と井上先生も語っていました。

